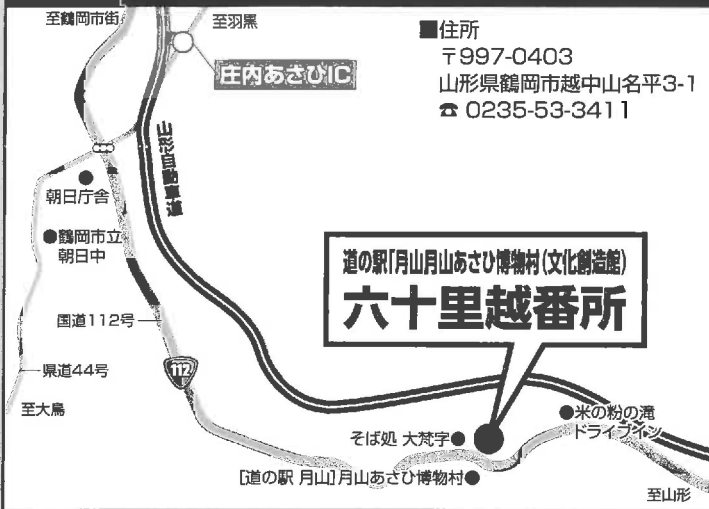


● 会場のご案内 ●

10/11(金)・12(土) 集合場所



10/12(土) 六十里越街道を歩く 8:30 集合

- 集合場所** 道の駅「月山」月山あさひ博物村 六十里越番所 (文化創造館)
- コース** 六十里越街道 蟻腰坂～湯殿山神社
- 会費** 1,000円 [保険・ガイド料・拝観料など] (受付時に集金します) ※参拝バスは実費となります。
- 持ち物** 飲み物・雨具・昼食 など
- 内容** ★ガイドとともに六十里越街道を歩きます。
★雨天時は中止となります。



定員 25名

※健康診断は行いませんが、各自の責任において健康診断を済ませておいて下さい。視覚障害、運動障害のある方については、同伴者の参加が必要です。参加中の負傷については現地での応急処置を行います。費用は本人負担となります。なお、参加中に事故が発生した場合、主催者側は傷害保険の範囲内でのみ負担を負います。

10/11(金) スケジュール

※時間は目安です

- 8:30 月山あさひ博物村集合 ▶
- 9:00 三即身仏巡り開始 ▶
- 12:00 昼食 (大網地区地域防災センター)
- 13:00～15:00 フォーラム(大網地区地域防災センター) ▶
- 15:30 解散

「六十里越街道 ～自然の恵みに生かされ癒される～ 即身仏と食のフォーラム」参加申込書

締切日 / 10月4日(金)

電話・FAX・郵送・メールで受付いたします。FAXをご利用の際は、下記申込用紙に必要事項をご記入の上お申し込みください。準備の関係上、締切日以降のキャンセルはお受けかねます。また、定員になり次第、参加の申込を締め切らせていただきますので予めご了承ください。※この面をファックスしてください。

◎参加者氏名

10/11 50名(定員) 10/12 25名(定員)

フリガナ	氏名	男・女	生年月日 (保険加入のため)	大正 昭和 平成	年	月	日 (歳)
フリガナ	住所	(〒 -)					
連絡先	(TEL)		(メールアドレス)			@	

※日中でも連絡がつく電話番号をご記入ください。

◎参加日に○をつけてください。

◎所属団体名、事業所名、グループ名など

10/11(金) 「即身仏と食のフォーラム」	10/12(土) 「六十里越街道歩き」	両日 「フォーラム/古道歩き」	
---------------------------	------------------------	--------------------	--

お問い合わせ・お申し込み先

出羽の古道 六十里越街道会議事務局

〒997-0492 山形県鶴岡市下名川字落合1 (鶴岡市朝日庁舎産業建設課内)

tel.0235-53-2120 fax.0235-53-2119

E-mail norin-as@city.tsuruoka.lg.jp

*今回ご記入いただいた個人情報につきましては、実行委員会事務局が責任を持って管理し、本人の同意を得ずに第三者に開示することはありません。

日本風景街道



東北一第11号
山形県鶴岡市

日本風景街道は、郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、以って、地域活性化、観光振興に寄与し、これにより、国土文化の再興の一助となることを目的とします。

森林文化都市・鶴岡



森林文化都市・鶴岡

鶴岡市は東北地方でも最大の面積を持ち、その約7割が豊かな森林に包まれています。鶴岡市ではこの広大な森林を地域の貴重な資源として、市民と森林との新しい関係をづくり、森林があることで生活が豊かになる「森林文化都市」を目指しています。

ユネスコ
食文化都市 鶴岡



ユネスコ
食文化創造都市
鶴岡
UNESCO Creative City of Gastronomy

鶴岡の多様な食文化を活かし食文化創造都市推進事業の実施に取り組み一方で、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の「創造都市ネットワーク」食文化分野での加盟を目指し活動を進めてきました。2014年12月1日、ユネスコに対しネットワークへの加盟が認定、鶴岡市はユネスコが認める日本初の食文化創造都市となりました。

日本遺産

出羽三山「生まれかわりの旅」



JAPAN HERITAGE

「日本遺産(Japan Heritage)」とは、地域の歴史的価値や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも積極的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。